

属国の末路

迫る米国債デフォルト（債務不履行）で属国日本は助からない。
「中国は大丈夫」と米財務長官が発言。

世界一の米国が破綻するわけがない。世界はまだ幻想を抱いている。だが、「米国債は、いずれ必ずデフォルトします」と言うのは、黒岩アセットマネジメントの黒岩泰代表だ。

米財務省によると、米国が

抱える公的な債務残高は、国債を中心に11兆3438億ドル（5月末）に達している。円換算で1134兆3800億円（分かりやすくするため1ドル＝100円で算出）。

「1100兆円以上の借金を返済できると思いますか。どう考えても無理でしょう。あの時点で、チャラにするしかない。昨秋のリーマン・ショック、今話題の米カリフォルニア州の財政破綻懸念など次々と米国のほころびが見えてきました。いずれ超ドル安やハイパーインフレが起きるでしょう。超インフレによって、米国の借金は相対的に目減りします。それでも返済不能となれば、最後はデフォルトしかない」（黒岩氏）

日本が保有する米国債（公的債権）は、米財務省の公表ベースで4月末に6859億ドル（68兆5900億円）。だが、これにはカラクリがある。

「日本企業の米現地法人が購入したものなどカウントされない分が多数あります。」

実態はもともと膨大なはずです。米国債がデフォルトすれば、すべてが失われますが、米国の動きを見ていると、日本だけが大幅損するシナリオも見え隠れします」（黒岩氏）

5月末にガイトナー米財務長官が中国の北京を公式訪問した。ガイトナーは北京大学で政治家や大学関係者に、次

会社の個性は社長の個性で決まる。「好きなこと、得意なこと、できること」に集中することが何より大切。「これだけは誰にも負けない」、会社の自慢を作る。

「売り物は何か」を絞って徹する。

迷わない、自分流の経営。天分

経営の実現へ会社の個性は社長の個性で決まる。「好きなこと、得意なこと、できること」に集中すること

が何より大切。「これだけは誰にも負けない」、会社

は誰にも負けない」、会社

8月13日(木)~16日(日) 勝手ながら夏期休暇です

のように話している。「中国の保有する米国債は、非常に安全である」

中国は、米国債を4月末時点で7365億ドル（73兆6500億円）保有。世界一の保有国だけに、かなり配慮した発言だったに違いない。

「注目すべきは、ガイトナー長官が『中国の保有する』と言ったことです。うがった見方をすれば、米国債がデフォルトしても中国保有分だけは、何らかの形で補償する。そんな密約をにおわせる発言でした。保有額上位のロシアにしても米国債の売却に動きはじ

めています。日本は米国との密接な関係で簡単に売却できない。世界の大国から見れば、米軍基地を国内に置く日本は、米国の『属国』でしかありません」（黒岩氏）

属国が、宗主国以上に富むことはあり得ないし、許されない。そのことを嫌というほど思い知らされる日が近づいている。

泡沫政党による泡沫国家の実現です。



あらゆる事象は心の反映

の自慢を作る。「売り物は何か」を絞って徹する。迷わない、自分流の経営。天分

経営の実現へ会社の個性は社長の個性で決まる。「好きなこと、得意なこと、できること」に集中すること

が何より大切。「これだけは誰にも負けない」、会社

は誰にも負けない」、会社

は誰にも負けない」、会社

は誰にも負けない」、会社

らば、「考え方」がマイナス値となり、「能力」があればあるだけ、「熱意」が強ければ強いだけ、人生や仕事の結果において無残な結果を残してしまうもの。

素晴らしい哲学を持つか持たないかで、人生はガラリとその様相を変えるものである。

成功に至る近道などありえない。情熱を持ち続け、生真面目に地道な努力を続ける。このいかにも愚直な方法が、実は成功をもたらす王道なのである。

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
2009年7月27日(月) N047
地域から明るい未来を作ろう